

まちなかにおもちゃが大集合

本年も社会実験を実施しています

7月20日、花巻中央広場と周辺道路で「花巻おもちゃフェスティバル」が開催されました。

このイベントは、民間事業者がまちなかでの新しい過ごし方を提案する社会実験の一環として開催。花巻おもちゃ美術館のおもちゃや子ども用の乗り物広場が用意されたほか、キッチンカーエリア、ハンドボール体験スペースも設けられ、たくさんの親子がまちなかでの時間を楽しみました。

8月にも社会実験が行われます。詳しい内容は8ページをご覧ください。



手作りおもちゃや乗り物で遊ぶ子どもたち

防災運動遊び通じて地域交流

花巻JC主催 地域コミュニティ大作戦!!

7月27日、防災運動遊びを通じた地域交流行事「地域コミュニティ大作戦!!」が富士大学スポーツセンターで開催されました。

主催した花巻青年会議所(JC)は、準備段階から花巻地区コミュニティ会議、南城中学校、富士大学、社会福祉協議会などと連携。地域課題や地域交流の内容を話し合い、防災に焦点を当てた今回の企画を考えました。

同行事には、花巻地区の住民ら150人が参加。10チームに分かれ4種目の得点を競いながら、防災への関心と交流を深めました。



災害脱出救済リレーで担架運びを体験する参加者

10人で息を合わせて Eボートレース

田瀬湖ウォータースポーツフェスティバル

毎年、7月下旬の2日間で開催している「田瀬湖ウォータースポーツフェスティバル」。今年は雨天により1日目のバナナボートなどの体験は中止となりましたが、2日目の28日は、Eボートレースが開催されました。

レースには、市内7チームが出場。10人1チームで、田瀬湖に設けられたコースをボートで周り、タイムを競います。出場者は、時折小雨に降られながら、楽しくも真剣に順位を競い合い、地元消防団を中心に構成するチーム「すりめんず」が優勝しました。



優勝を目指してEボートをこぐ出場者たち

賢治さん

第114回

賢治祭

宮沢賢治の命日である9月21日には、例年「賢治祭」が開催されており、全国から多くのファンが集まります。元々は、賢治の教え子やゆかりのある人が行っていた追悼会が前身の行事でした。昭和29年から賢治祭に名を変え、現在は一般財団法人宮沢賢治記念会が主催しています。

同会は昭和51年に設立されて以来、宮沢賢治の顕彰と社会文化の発展への寄与を目的に活動。その中でも賢治祭は、設立当初から現在に至るまで、同会が注力している活動の一つです。

賢治祭では、歌や朗読、演劇、鹿踊といった賢治が愛したものを、出演者がそれぞれの個性や特色を生かして披露します。運営スタッフの一人



▲昨年の賢治祭の様子。花巻小学校の3年生が「雨ニモマケズ」を朗読しました

は「賢治さんが好きなものを集めて、賢治さんや参加した人たちへ届けたい」と、賢治祭に臨む気持ちを教えてくれました。

本年の賢治祭は9月21日(土)、午後4時〜6時30分、文化会館を会場に開催されます。また、「雨ニモマケズ詩碑」前では、午後1時から献花が行われ、賢治作品ゆかりのリンドウなども献花者のために準備されます。両会場を結ぶシャトルバスなどの運行はありませんので、ご参加の際はご注意ください。

【賢治祭に関するお問い合わせ】
宮沢賢治記念会
(☎31-2117)

▼賢治祭ホームページ



世界と花巻

vol.115

米国ラットランド市の中高生らが来花

7月1日〜8日、国際姉妹都市である米国バーモント州ラットランド市の中高生ら8人が、当市に滞在しました。

一行は、八幡保育園、石鳥谷中学校、花北青雲高校、石鳥谷国際交流センターなどを訪問。学校訪問では華道や茶道、折り紙などを通じて生徒と交流し、保育園では園児と共にこまやお手玉などの昔遊びに親しみました。また、石鳥谷・ラットランド友好協会と好地まちづくり協議会による交流会ではバーベキューや風鈴作りを体験し、石鳥谷ライオンズクラブ主催の歓迎交流会では地域住民との交流を楽しみました。このほか、花巻スポーツランドで北上川の保全活動について学び、ラフティングなどを通じて花巻の自然を満喫しました。

10月上旬には、新型コロナウイルス感染症の



②折り紙で紙飛行機作り(石鳥谷中学校)



③石鳥谷ライオンズクラブ主催歓迎交流会での集合写真

影響で延期となっていた姉妹都市提携35周年記念事業として、ラットランド市長をはじめとする公式訪問団が19年ぶりに来花予定。10月下旬には、本市の中学生がラットランド市に派遣される予定です。